

その他意見等（新型コロナウイルス感染症関係）

- ・ 今年の5月は新型コロナウイルス対応のためオンライン授業を行ったが、大学生でもインターネット環境の調査をして不都合がある学生には、オンライン授業以外の対応をした。何かの時のために、児童生徒の家庭におけるパソコンやインターネット環境の実態把握を行うこと、環境が整っていない場合の対応策などを検討することが必要だと考える。
- ・ オンライン授業などは、学校の施設設備や家庭のネット環境により実施できないこともあるが、今回のような非常時に子どもたちの学習機会を確保する方法を検討・準備する必要がある。ただし、パソコン等の機器の技術は日進月歩であり常に更新が必要となるため、教育機器に関する継続した予算の確保が必要である。そこで、教育機器等を効果的に活用できる教育活動と従来の黒板とチョーク、プリント等を使った授業改善の双方を推進することが重要だと考える。
- ・ 新型コロナ感染防止のための学校の休業にかかわり、学童保育所や児童館に対しての学校に関する情報がどこから出されるのかが明確でなかった、あるいは連絡が無かったということを知っている。特に児童館については連携組織や連絡システムも明確でないように知っている。学校以外で児童が過ごす場としてどこが管轄しているのか分からないが、コロナ対応も含めて統一した連絡がどこかから出されるべきだと思う。
- ・ 緊急事態宣言、自粛になっていても保育園は開けなければならないという事実。学校、幼稚園は休校・休園なのに、同じ地域の子どもなのに保育園は例外。保育園は、今現在も3密をさげられない。各事業所で最善と思われる対策はしているものの、保育関係に関わる人が、いつ誰がコロナにかかってもおかしくない状況。